

平和祈念財団だより



摩文仁の丘と平和祈念公園について

写真は「摩文仁の丘」を北西方向から眺めた様子です。

この丘は平和祈念公園の中でも、地形的に最も高い場所に位置しています。頂上付近には、国土地理院の基準点(標高 88.9 メートル)が置かれています。近くには、沖縄戦の最後に使用された「第 32 軍司令部壕」があり、戦争の歴史を伝える重要な場所となっています。また、「摩文仁の丘」海岸側の麓には、「健児之塔」や「南冥の塔」などがあります。

近年、全国各地で自然災害が多発しています。平和祈念公園は、糸満市の「指定緊急避難場所」として指定されており、地域の「広域避難場所」です。

特に、地震による津波が発生した場合でも、平和祈念公園内は海拔が高いため、公園から外に出る必要はないものと考えられます。平和の礎から、平和の火の広場にかけての一带も、高台に位置しています。

この公園からは、遠くには久高島を望むことができ、急峻な崖下では、白い波の美しい海岸線を眺望することができます。

公園入口にある総合案内所周辺は、海拔 56 メートル、また、平和祈念公園付近は、概ね海拔 50 メートルの高さにあります。



***** 新評議員の紹介 *****

・ 7 月 24 日(木)評議員会が開催され、新たに 2 名の評議員が加わるようになりました。今回の選任により、従前の 7 名が揃うこととなり充実した審議が行われるものと期待しております。(定款上は、5 名以上 10 名以内となっております。)

【上間 優(うえま まさる)氏】

1979(昭和 54)年 大同火災海上保険株式会社入社

2010(平成 22)年 同社常務取締役

2012(平成 24)年 同社代表取締役社長

2018(平成 30)年 同社取締役会長(現在は退職)

【山入端 美智子(やまのは みちこ)氏】

1976(昭和 51)年 沖縄県玉城村役場採用

南城市市民部長

2016(平成 28)年 南城市役所定年退職

2017(平成 29)年 南城市役所行政改革推進委員(平成 31 年 1 月まで)

公益財団法人 沖縄県平和祈念財団 定款(抄)

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は沖縄全戦没者(太平洋戦争の一般犠牲者すべてを含む。以下同じ。)の御霊を慰霊し、悲惨な戦争体験を風化させないため平和祈念及び平和発信に資する事業等を行うとともに霊域の尊厳を守るため追悼施設及び関連施設の維持管理に必要な事業を行い、もって世界の恒久平和に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 沖縄全戦没者の慰霊に関する事業
- (2) 平和の発信に関する事業
- (3) 霊域及び関連施設の維持管理等に関する事業
- (4) その他、前条の目的を達成するために必要な事業

第 4 章 評議員

第 12 条 この法人に評議員 5 名以上 10 名以内を置く。

2 評議員のうち 1 名を評議員長とし評議員の互選により選定する。

役職名	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
評議員	伊 佐 嘉 一 郎	前那覇空港ビルディング(株)取締役会長	評議員長
〃	安 谷 屋 幸 勇	元糸満市教育長	
〃	久 保 田 照 子	久保田照子チャームスクール院長	
〃	新 里 正 次	前タイムスアド企画社長	
〃	我 部 政 寿	一般財団法人沖縄県遺族連合会会長	
〃	上 間 優	日本赤十字社沖縄県支部 副支部長	
〃	山入端 美智子	元南城市市民部長	

七夕まつり・(7/4～/11)

毎年、七夕の時期には、公園案内所に笹の木を設置し、来園者の皆様とともに七夕まつりを開催しています。今年もたくさんの方々に、短冊へ願い事を書いていただきました。

短冊には、「平和」「世界」「安心」などの言葉が多く見られ、多くの方々が願いを込めている様子が伝わってきました。

集まった短冊は後日、盆供養祭にてお焚き上げを行いました。



8/29

令和7年度盆供養祭

令和7（2025）年度の盆供養祭を、国立沖縄戦没者墓苑にて執り行いました。盆供養祭は、戦没者の諸霊をお迎えして、ご冥福をお祈りするとともに、平和を享受できることへの感謝と世界の恒久平和を祈念するものです。

当日は、沖縄県遺族会会長をはじめ、沖縄総合事務局次長、沖縄県保護・援護課長、糸満市副市長にご参列をいただきました。また、茶道裏千家淡交会様による「奉茶」や琉球フィルハーモニック様による「音楽奉納」のご協力により、厳かに式典を執り行うことができました。



嘉数昇明氏が琉球新報賞を受賞

当財団の評議員を長年務められてきた嘉数昇明氏が、この度の第61回琉球新報賞（元副知事・沖縄振興功労）を受賞されました。心からお慶び申し上げます。

嘉数氏は、平成25年から令和6年までの11年間、評議員長を務められました。

照屋寛評議員が退任

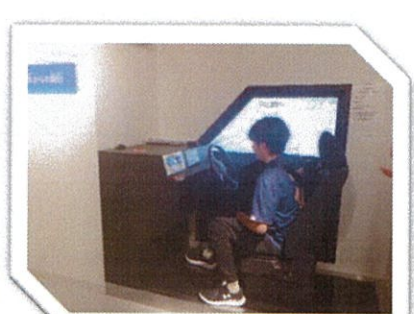
6月12日定時評議員会において、照屋寛評議員が一身上の都合により退任されました。照屋評議員におかれましては、平成27年から監事、平成29年から理事、令和元年からは評議員を都合10年間務められました。

心から感謝申し上げます。



沖縄県は、台風や集中豪雨による風水害が多く、また、地震や津波などの自然災害も、いつ、どこで発生するかわかりません。こうした災害リスクに備えるためには、日ごろからの準備と意識の向上が重要です。

災害時における適切な対応力を養うとともに、職員一人ひとりの防災意識を高めることを目的とした研修を実施しました。研修では、体験型の学習を取り入れ、実際の災害を想定した訓練や、非常時に必要な行動や備えについて具体的に学ぶ機会を設けました。



今回の体験型学習では、初期消火や簡易地震体験に加え、水害時の脱出体験が特に印象深い内容となりました。体験では、水位が約40cmに達すると、成人男性であっても車のドアを開けるのが困難になることが実感され、水害の危険性について理解を深める機会となりました。

財団カレンダー 10月から12月までの主な行事予定



10月3日(金)	平和祈念公園愛護活動
10月中旬～12月	各都道府県の慰霊祭
12月7日(日)	那覇マラソン(公園は中間地点となる)
12月頃	ヒマワリ畑の植え付け
12月26日(金)	財団仕事納め



「平和祈念財団だより」(No.17) 2025(令和7)年9月15日[年4回発行]

【発行】代表理事 金城克也

【編集】公益財団法人沖縄県平和祈念財団

編集:松川満 松堂利枝子 岩下喜博 撮影:磯部誠、城間敦子

〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 番地

☎: 098-997-2765 / fax: 098-997-2767

Email: heiwakinenzaidan@heiwa-irei-okinawa.jp

